

西雅雄 にしやゆう 評論家。明治二十九年岡山縣勝田郡様並村生れ、昭和十  
九年四月十六日歿（二六六―一九四）。縣立高梁中學校卒。徴兵除隊後上  
京、秀英舎の文選工となる。大正九年山川均主筆『社會主義研究』の  
編輯に携はる。十一年第一次共產黨事件で入獄、出所後雑誌『マルタ  
ス主義』の編輯に従事。昭和二年共產黨買一齊檢舉（二・一五事件）  
で起訴せられ、六年保釋。のち滿鐵調査部に入るも、十九年憲兵隊に  
捕へられ、獄死した。

著書『英國労働黨發展史』（大正十二年六月十日白揚社）、『階級闘  
争中概論』（昭和二年八月十六日希望閣）、『プロレタリアの經濟學』  
（昭和二年十一月二十日南東書院）、『經濟學』（昭和二年十一月二十  
日南東書院『無産者自由大學』）等の他、譯書に、マックス・バー  
グ著『近世労働階級の擡頭』（大正十五年二月五日白揚社『社會主義  
史』）、エンゲルス著『家族、私有財産及び國家の起源』（昭和四年  
六月十五日、改譯・十年十一月十日、『改譯家族・私有財産及び國家の  
起源』（二十一年十一月十日岩波書店『岩波文庫』）、レーニン著『ロ  
シアにおける資本主義の發展』（大山岩雄共譯、上巻・昭和十一年五  
月二十日、下巻・九月二十日、改訂版―上巻・二十七年七月二十日、  
中巻・八月五日、下巻・十月岩波

書店『岩波文庫』）、マルクス著

『ゴータ綱領批判』（昭和二十四年

一月十五日岩波書店『岩波文庫』）

等がある。

